

デザイン学科教授 萩原 周

1. 研究活動

学外口頭発表： 地域における関係づくりに関する実験的なデザイン研究—関係と空間とを分けることなく創出する、地域のメディアとしての場	2015. 6. 14	第62回日本デザイン学会研究発表大会 於：千葉大 西千葉キャンパス 共同研究者：水内智英、中村真梨子（学外）、萩原周	地域におけるつながりと価値醸成に関するデザインプロジェクト：「土と人のデザインプロジェクト 2014——ゲストハウスをつくる」（名芸大）の実例を検証し、地域における新たな関係、価値創出のための場・メディアづくりとそのプロセスについて発表。
作品設置： 顔出しパネル「織姫と彦星」、洗濯バサミによるオブジェ「天の川」	2015. 7. 23～26	おりもの感謝祭一宮七夕まつり 主催：一宮市観光協会 依頼元：一宮市駅西商店街	一宮市駅西商店街の依頼を受けて、駅近くの管轄地の植栽及びその前のオープンスペースに顔出しパネル「織姫と彦星」約1500X1700mm 1台、洗濯バサミによるオブジェ「天の川」約5000X7000mmを制作、設置した。（協力：山口慶伍助手、2年生有志学生）
報告書作成： 「国内外におけるデザインファンデーション教育の実態調査・検証、及びその将来的展望に関する研究」	2016. 1. 20	本学の研究助成による研究の研究報告書、A4、10P+資料集 共同執筆者：水内智英、萩原周	本研究の目的は、国内外の様々なデザインファンデーションプログラムの事例研究を通じ、デザイン基礎教育の実態を俯瞰、および検証である。併せてその結果から、今後のあるべきデザインファンデーション教育の展望を描いた。本報告書はその成果を学内発表に向けてとりまとめたもの。
学内口頭発表： 「国内外におけるデザインファンデーション教育の実態調査・検証、及びその将来的展望に関する研究」	2016. 1. 27	本学B棟視聴覚室 本学の研究助成による研究 国内インタビュー取材：7大学 共同研究・発表者：水内智英、萩原周	本研究の目的は、国内外の様々なデザインファンデーションプログラムの事例研究を通じ、デザイン基礎教育の実態を俯瞰、および検証である。併せてその結果から、今後のあるべきデザインファンデーション教育の展望を描いた。

2. 教育活動（教育実践上の主な業績） 大学院授業担当 ■有 □無

3. 学会等および社会における主な活動

コンペティション審査員： 常滑・秋祭ポスターイメージコンペ	2015. 7. 24	名芸大の在学生、卒業生を対象に公募したポスター（イメージ）コンペティション（常滑・秋祭ポスター作成実行委員会）の作品審査を地元商店街、観光協会の代表者とともにいった。（常滑秋祭 主催：とこなめ秋祭連合会 協力：常滑市、名芸大）
講師： 岡崎市屋外広告物講習会	2015. 11. 19	岡崎市役所（西庁舎1階、都市計画課）にて、岡崎市内で屋外広告物制作企業として登録をしている受講生を対象に、屋外広告物の基本的な考え方や求められる施行内容について、主に豊田市内で取材した画像データ等も使いながら講義を実施。主催：岡崎市都市計画課景観推進班、於：西庁舎1階、都市計画課

豊田市景観審議会委員	2013～	豊田市内を対象とした、景観に関連する事業などの評価、要望などの審議。
おりもの感謝祭一宮七夕まつり 装飾委員会委員	2015. 1～7	オブザーバーとして委員会への参加、開催内容等への助言
日本デザイン学会	1986～	研究発表等
基礎デザイン学会	1998～	研究会参加等
野外活動研究会	2002～	研究会参加等